

SEKONIC

露 出 計

使用説明書

フラッシュメイト

L-308S

保証書付

お買いあげありがとうございます。

この使用説明書をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。この使用説明書には、保証書が添付されておりますのでお読みになった後も、大切に保存してください。

■正しく安全にお使いいただくために

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠ 警告 このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。

⚠ 注意 このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が軽傷、または中程度の傷を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。

ご注意 操作をする上での注意や制限です。誤った操作をしないために、必ずお読みください。

ご参考 操作の参考になることや、関連した機能などについての情報です。お読みになることをお勧めします。

⚠ 警告

- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。
- 乳幼児等が誤って、白色平板、シンクロターミナルキャップを飲み込まないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。
- 電池を火の中に入れて、ショート、分解、加熱、充電は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

⚠ 注意

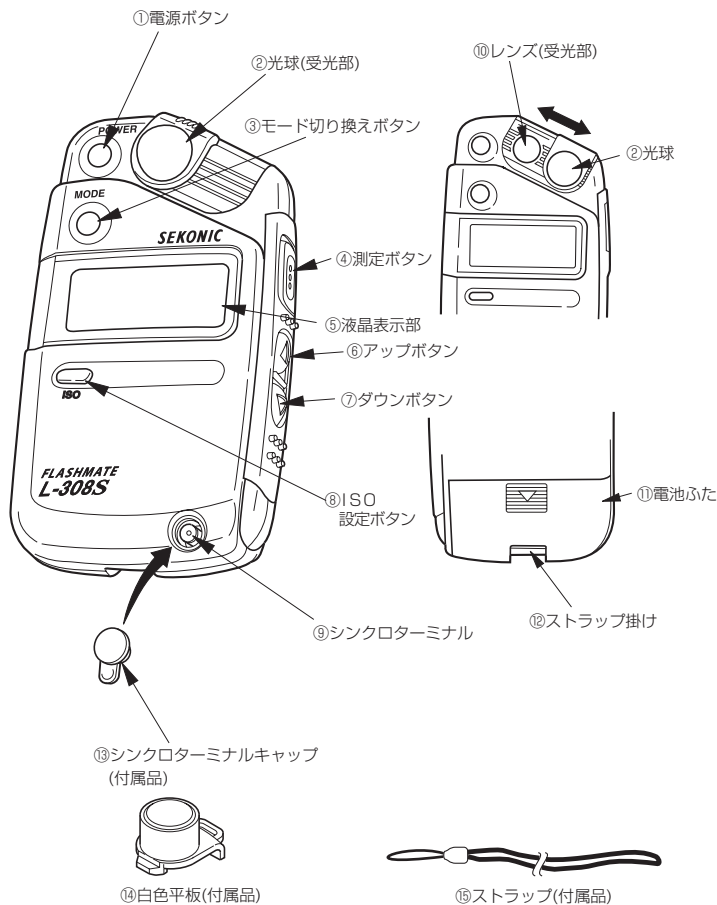
- 雨中、水しぶきがかかる場所や水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。又、製品が故障する原因となる場合があります。

正しく安全にお使いいただくために

目次

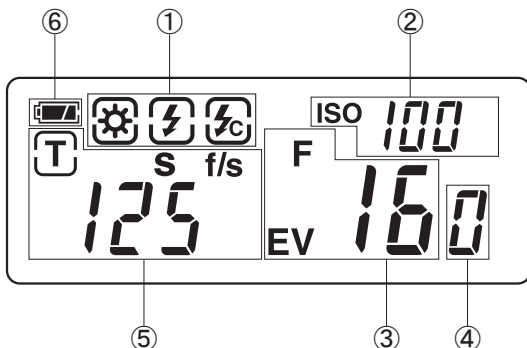
1. 各部の名称	1
2. 液晶表示部の説明	2
3. ご使用前に	3
1. ストラップの付け方	3
2. 電池の入れ方	3
3. 電池容量の確認	4
4. 測定中の電池交換	4
5. 自動電源 OFF 機能	5
6. フィルム ISO 感度の設定	5
4. 基本操作	6
1. 受光方式の設定	6
2. 測定モードの設定	6
3. 入射光式で測定する場合	8
4. 反射光式で測定する場合	9
5. 測定	10
1. 定常光の測定	10
1-1 シャッター速度優先モードの測定	10
1-2 EV モードの測定	11
1-3 シネカメラ撮影時の測定	13
2. フラッシュ光の測定	14
2-1 フラッシュ光コード接続モードの測定	14
2-2 フラッシュ光コードレスモードの測定	16
6. 機能	18
1. 照明コントラストの測定	18
2. 簡易照度計としての使い方	18
3. カスタムセッティング機能	19
7. アクセサリー	20
8. 仕様	21
9. 使用上のご注意	22
10. アフターサービスについて	23
保証規定	24
保証書	25

1. 各部の名称



2. 液晶表示部の説明

※本表示は説明のため、実際とは異なります。



① 測定モード表示部

- 定常光モード (P 10 参照)
- フラッシュ光コードレスモード (P 16 参照)
- フラッシュ光コード接続モード (P 14 参照)

② ISO 表示部 (P 5 参照)

ISO フィルムの ISO 感度を表示します。

③ 絞り値 / EV 値表示部

F 絞り値を表示しているとき、点灯します。

EV EV 測定するとき、点灯します。(P 11 参照)

④ 0.1 段表示部

設定されたモードにより、1 / 10 絞り、または、1 / 10 EV で測定値を表示します。(P 10 参照)

⑤ シャッター速度 / シネコマ数表示部

T シャッター速度優先測定するとき、点灯します。(P 10 参照)

S シャッター速度が秒単位するとき、点灯します。(P 10 参照)

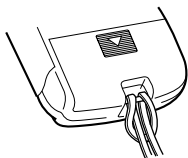
f/s シャッター速度がシネコマ数のとき、点灯します。(P 13 参照)

⑥ 電池容量表示部 (P 4 参照)

3. ご使用前に

1. ストラップの付け方

- 1) ストラップ⑮をストラップ掛け⑫に通します。
- 2) ストラップ先端の輪の中にストラップの反対側を通してください。

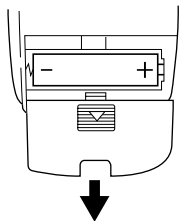


⚠ 警告

- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

2. 電池の入れ方

- 1) 単3形マンガン乾電池 (R6P)、単3形アルカリ乾電池 (LR6)、又は単3形リチウム電池 (FR6) を用意します。
指定以外の電池は使用できません。
- 2) 電池ふた⑪を矢印の方向にひいて外します。
- 3) 電池室の+表示に合わせて入れてください。
- 4) 電池ふたを本体に合わせスライドして閉めます。
確実にかみ合ったことを確認してください。



ご注意

- ニッケル・カドミウム蓄電池 (NiCd)、ニッケル・水素蓄電池 (NiH) は使用できません。
- 電池の液漏れ等で本機に影響を与えることがありますので、長期間ご使用にならないときは電池をとりだして保管してください。
- 液晶が表示されない場合は、電池容量が充分あるか電池が+-逆に挿入されていないかを確認してください。

3. 電池容量の確認

電源ボタン①をONすると液晶表示部⑤に電池容量を示すマークが表示されます。



点灯

電池容量は十分です。



点灯

予備の電池を用意してください。



点滅

直ちに電池を交換してください。

ご参考

- ・ 電源をONした後、液晶表示が現れたのちすぐに表示が消える場合は、電池容量がなくなっていますので、直ちに電池を交換してください。予備の電池は常にご用意されることをお勧めします。
- ・ 本機は連続測光した場合、電池寿命は常温で下記のようになっています。
マンガン電池 約10時間
アルカリ電池 約20時間
(当社試験条件)

4. 測定中の電池交換

- 1) 必ず電源を「OFF」してから電池交換を行ってください。電源「ON」のまま電池をとりだしますと、測定値や設定値を呼び出すことができなくなります。
- 2) 電池交換後又は測定中、液晶表示部に異常な表示（設定していない表示等）、又は操作ボタンを押しても動作しないときなどは、電池を一度とり出し10秒以上経過してから入れ直してください。この現象は本機の構成上、発生する場合があります、故障ではありません。

警告

- 電池を火の中に入れてたり、ショート、分解、加熱、充電は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

ご注意

- 電源ボタンのON/OFFの間隔は3秒以上あけてください。

3. ご使用前に

5. 自動電源 OFF 機能

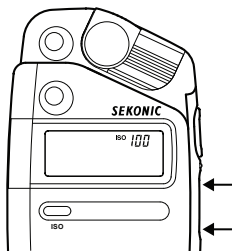
- 1) 省電力設計のため使用后（最後にいずれかのボタン操作後）約4分で自動的にすべての表示が消え電源はOFFとなります。
- 2) 自動電源OFF機能が働いた場合と、電源ボタン①をOFFした場合のいずれでも設定値・測定値は記憶されており、電源ボタンをONすることで再表示されます。

ご参考

- ・ 電源ボタンが押されたままの状態になると約1分後に自動的に電源が切れます。

6. フィルムISO感度の設定

- 1) ISO 設定ボタン⑧を押しながらアップボタン⑥、又はダウンボタン⑦を押して、使用するフィルムのISO感度を設定します。
- 2) フィルムのISO感度の変更は、測定後でも行えます。測定後にフィルムのISO感度を変えると新たに換算された測定値を表示します。



ご参考

- ・ アップボタン、又はダウンボタンを1秒以上押し続けると連続して設定値が変わります。

4. 基本操作

1. 受光方式の設定

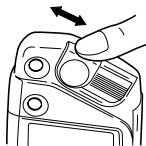
- 1) 入射光式と反射光式の切り換えは光球②の取付台部をクリックする位置まで確実にスライドさせ、使用する受光方式に切り換えます。



入射光式



反射光式



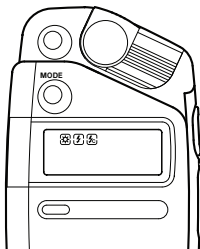
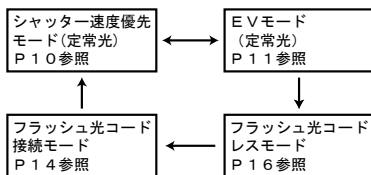
切換操作

ご注意

- 切り換えを行う場合は必ず光球の取付台部で行ってください。光球を持って操作すると、破損する場合があります。
- 光球は大切な受光部です。傷や汚れを付けないように扱ってください。
光球が汚れたとき、乾いた柔らかい布で拭いてください。
有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。

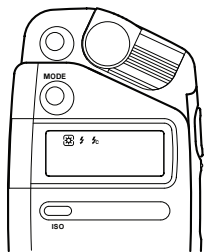
2. 測定モードの設定

- 1) モード切り換えボタン③を押して使用するモードを選択します。
測定モードは下図のような順序で測定モードが切り換わります。



4. 基本操作

- 2) 定常光モードで ISO 設定ボタン ⑧ を押したままモード切り換えボタン ③ を押すと EV モードとシャッター速度優先モードが交互に切り換わります。測定後、切り換えたときは測定値の演算も自動的に行われます。

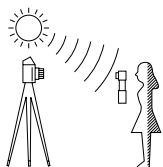


ご参考

- ・ 定常光とは、自然光（太陽光）やタングステンランプ・蛍光灯のような連続光のことです。
- ・ フラッシュ光とは、フラッシュ又はフラッシュバルブ（閃光電球）のような瞬間光のことです。

3. 入射光式で測定する場合

入射光式の測定は、光球か平板機能を使って測定する方法です。
被写体位置で光球をカメラのレンズに向けて測定します。

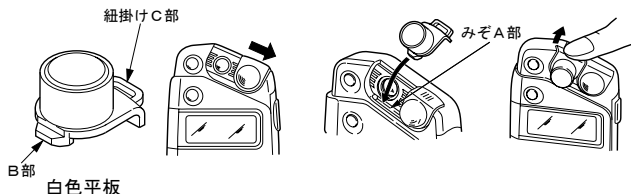


1) 光球を使っての測定

人物や建物など立体的な被写体を測定するときに使用します。測定方法は、基本的には被写体位置で光球をカメラ方向（正しくはレンズの光軸方向）に向けて測定する方法です。

2) 白色平板を使っての測定

原稿、書籍、絵画など平面的な被写体を測定するとき又は、照明比の測定（P 18参照）、簡易的に照度を測定（P 18参照）するときに使用します。平板機能への切り換えは、光球を反射光測定の場合と同様に右にスライドさせます。白色平板のB部を、受光部のみぞA部に斜めに差し込み、次に紐掛けC部を押してはめ込みます。



白色平板を取り外すには、取り付け方法と逆の順序で外します。
白色平板の紐掛けC部を起こすようにして外してください。

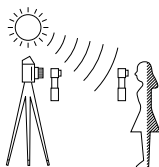
ご注意

- 間違った取り付け方、取り外し方をしますと破損の原因になります。正しくお取り扱いください。
- 入射光式測定するとき、白色平板を光球の右側に付けて測定しないでください。白色平板が光をさえぎり正しい値が得られません。
- 光球は大切な受光部です。傷や汚れを付けないように扱ってください。光球が汚れたとき、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。

4. 基本操作

4. 反射光式で測定する場合

カメラ位置、またはカメラ方向から被写体の測定したい部分に露出計のレンズを正しく向けて測定します。



- 1) この方法は被写体に当たって反射した光の明るさ（輝度）を測る方法で、被写体位置まで近づけない場合や発光する被写体（ネオン等）、透過光（ステンドグラス等）を測定する場合に適しています。
- 2) カメラ位置、またはカメラ方向から被写体の測定したい部分に露出計のレンズを正しく向けて測定します。

ご注意

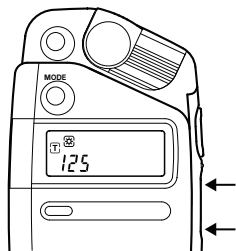
- カメラ位置で測定すると被写体全体の平均測定になります。
- 部分測定するときは、できるだけ被写体主要部に近づいて測定してください。その場合露出計等の影が測定部に入らないように注意してください。
- レンズは大切な受光部です。傷や汚れを付けないように扱ってください。光球が汚れたとき、乾いた柔らかい布で拭いてください。
有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。

1. 定常光の測定

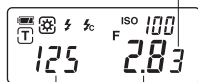
この測定方法には、シャッター速度優先、EV値の測定モードがあります。
モード切り換えボタン③を押して、
☒ 定常光モードに切り換えます。

1-1 シャッター速度優先モードの測定

- 1) モード切り換えボタンを押して、
T シャッター速度優先モードにします。
- 2) アップボタン⑥、ダウンボタン⑦を押して、希望のシャッター速度に設定します。
- 3) 測定ボタン④を押して測定します。
測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値（絞り値）が表示されます。
測定ボタンを押している間は、連続測定します。



1/10ステップの
測定値(絞り)



設定値 測定値(絞り値)

ご参考

- ・ シャッター速度の段数はカスタムセッティング機能により1段、1/2段、1/3段毎のステップに切り換えることができます。(P 19 参照)
- ・ 設定できるシャッター速度は、60秒、50秒、45秒……1秒、0.8秒……0.3秒、1/4……1/6400、1/8000秒です。1/8000秒の次にシネコマ数の8f/s……128f/sが別に設定できます。
- ・ 測定後、シャッター速度を変えるとそれに対応する絞り値を表示します。
- ・ 測定後、フィルム感度を変えると換算された値（絞り値）が表示されます。
- ・ 本機の測定範囲内であっても、設定されたシャッター速度では最大絞り値（F90）でも露出オーバーとなるE.oマーク、又は最小値（F0.5）でも露出アンダーとなるE.uマークの表示をすることがありますので次のページのように対応してください。

5. 測定

- ☆ 表示範囲を超えてオーバー（E.o）となるときは、アップボタン⑥を押してシャッター速度を高速側に変更すると、それに応じて適正な絞り値を表示させることができます。

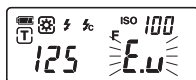
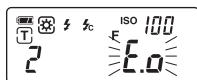


- ☆ 表示範囲を超えてアンダー（E.u）となるときは、ダウンボタン⑦を押してシャッター速度を低速側に変更すると、それに応じて適正な絞り値を表示させることができます。



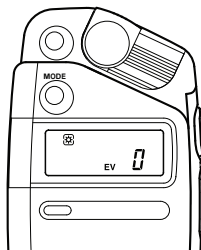
ご参考

- ・ 本機の測定範囲を越える明るさ（又は暗さ）のときは E.o（又は E.u）が点滅表示し、測定できないことを表します。この場合は明るさを調節してください。



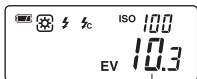
1-2 EVモードの測定

- 1) モード切り換えボタン③を押して、EVモードにします。



5. 測定

- 2) 測定ボタン④を押して測定します。測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値(EV値)を表示します。
測定ボタンを押している間は連続測定します。



測定値(EV値)

ご参考

- ・ EV値(Exposure Value)とはシャッター速度と絞り値で組み合わせられる一定の光量を対数的に表したものです。
1EV変化すると光量は倍(又は1/2)になります。
- ・ 絞り値(AV=Aperture Value)、シャッター速度値(TV=Time Value)とEV値との関係は $EV = AV + TV$ となります。
この関係式から、ある一定のEV値に対し、絞りとシャッター速度の組み合わせが何通りかあることがわかります。
- ・ 定常光シャッター速度優先モードでは測定後、アップボタン、ダウンボタンを押すと、シャッター速度値が変わり、それに伴い適正な絞り値(測定値)が表示されます。

☆ 絞り値・シャッター速度値・EV値対照表

$$EV = AV + TV$$

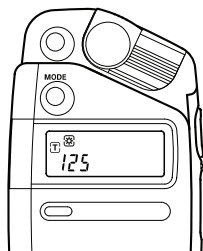
		AV										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
TV		1.0	1.4	2.0	2.8	4.0	5.6	8.0	11	16	22	32
	0	1s	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1/2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
2	1/4	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3	1/8	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
4	1/15	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
5	1/30	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
6	1/60	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
7	1/125	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8	1/250	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
9	1/500	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
10	1/1000	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

※横軸は絞り値。縦軸はシャッター速度値。グレー地の文字がEV値。

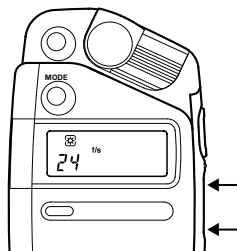
5. 測定

1-3 シネカメラ撮影時の測定

- 1) モード切り換えボタン③を押して、シャッター速度優先モードにします。



- 2) アップボタン⑥、ダウンボタン⑦を押して、使用するシネカメラのシネコマ数を設定します。



シネコマ数の設定は……1/6000、1/8000の次から表示され、単位はf/sとなります。設定できるシネコマ数は8、12、16、18、24、25、30、32、60、128が設定できます。設定されているシネカメラのシャッター開角度は180度です。

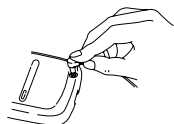
2. フラッシュ光の測定


この測定方法には、コード接続、コードレスの各測定モードがあります。フラッシュ光を測定すると、液晶表示部にシャッター速度と絞り値（定常光とフラッシュ光をミックスした値=全光量）が表示されます。

2-1 フラッシュ光コード接続モードの測定

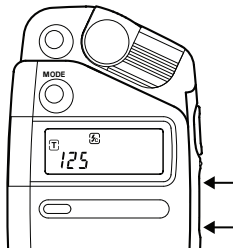
フラッシュと本機をシンクロコードで接続して測定を行う方法でフラッシュとの同調を確実にしたい場合や、フラッシュバルブ（閃光電球）の測定の際に使用します。

- 1) フラッシュのシンクロコードを本機のシンクロターミナル⑨に接続します。



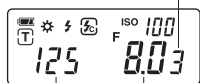
- 2) モード切り換えボタン③を押して  フラッシュ光コード接続モードに切り換えます。

- 3) アップボタン⑥、又はダウンボタン⑦を押して、シャッター速度を設定します。シャッター速度を設定するときは、使用機材の同調範囲をあらかじめ確認して設定してください。



- 4) 測定ボタン④を押すと、フラッシュが発光し、そのときの測定値（絞り値）が表示されます。

1/10ステップの
測定値(絞り)



設定値 測定値(絞り値)

(シャッター速度)

⚠ 警告

- 乳幼児等が誤ってシンクロターミナルキャップを飲み込まないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

5. 測定

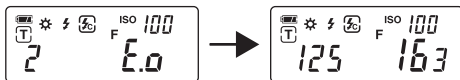
ご注意

- 雨中、水しぶきがかかる場所や水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。
- シンクローターミナルにシンクロコードを接続するときや本機の電源ボタンを操作した場合フラッシュによっては発光する場合があります。
- 極端にトリガー電圧が低いフラッシュ等では、発光しない場合があります。この場合は「フラッシュ光コードレスモード」で測定してください。(P16参照)
- フラッシュバルブ (閃光電球) を発光させて測定するときは、同調範囲を確認してシャッター速度を設定してください。

ご参考

- ・ シャッター速度の段数はカスタムセッティング機能により1段、1/2段、1/3段毎のステップに切り換えることができます。(P19参照)
- ・ 設定できるシャッター速度は、1秒、0.8秒…0.3秒、1/4…1/500秒の次に1/75、1/80、1/90、1/100秒が設定できます。
- ・ 測定後、シャッター速度を変えると、測定値(絞り値)はゼロとなります。この場合は再測定をお願いします。
- ・ 測定後、フィルム感度を変えると換算された値(絞り値)が表示されます。
- ・ 本機の測定可能な明るさ範囲内であっても、設定されたシャッター速度に対応する絞り値がE.o又はE.uの表示をすることがあります。
以下の方法でシャッター速度を調整するか、再測定をしてください。

- ☆ 表示範囲を超えてオーバー (E.o) のときは、アップボタン⑥を押してシャッター速度をカメラが同調する範囲内の高速側に変更するか、フラッシュの光量を弱くし、再測定を行うと測定値(絞り値)を表示させることができます。



5. 測定

- ☆ 表示範囲を超えてアンダー (E.u) のときは、ダウンボタン⑦を押してシャッター速度を低速側に変更するか、フラッシュの光量を強くし、再測定を行うと測定値 (絞り値) を表示させることができます。



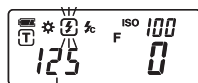
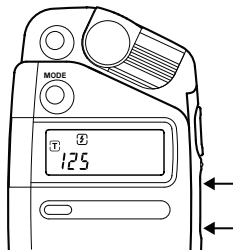
- ☆ 本機の測定可能範囲を超える明るさ (又は暗さ) のときは E.o (又は E.u) が点滅表示し測定できません。
この場合はフラッシュの光量を調節して再測定してください。



2-2 フラッシュ光コードレスモードの測定


この測定モードは一般的にフラッシュと本機の距離がありシンクロコードが届かないときや、シンクロコードが煩わしいときに使用します。

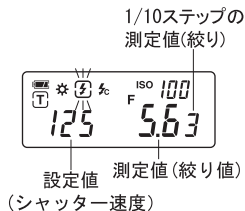
- 1) モード切り換えボタン③を押して
⚡フラッシュ光コードレスモードに切り換えます。
- 2) アップボタン⑥、又はダウンボタン⑦を押して、シャッター速度を設定します。
シャッター速度を設定するときは、使用機材の同調範囲をあらかじめ確認して設定してください。
- 3) 測定ボタン④を押すと、モードマーク ⚡が点滅し測定待機状態になります。
測定待機状態は約90秒間継続されます。
この間にフラッシュ光を発光させ、測定してください。



設定値
(シャッター速度)

5. 測定

- 90秒間を経過し点滅が消えた場合は改めて測定ボタンを押すと前回の測定値(絞り値)は0になり、再び測定待機状態になります。
- フラッシュ光を受光すると測定値(絞り値)が表示されます。測定後も、モードマーク  が点滅している間は、測定待機状態ですので、新たな測定が可能となります。



ご注意

- フラッシュを発光させても周囲光に比べてフラッシュの光量が少ない場合は、光を感知しないときがありますので、そのときは「フラッシュ光コード接続モード」にして測定してください。
- ラピッドスタート形蛍光灯や特殊な照明下では、まれにこれらの光をフラッシュ光として判別し、測定してしまうことがあります。このようなときは「フラッシュ光コード接続モード」にして測定してください。
- 測定待機中にフラッシュを発光させなくても、受光部に急激な光の変化が起きると測定してしまうことがあります。このような場合は「フラッシュ光コード接続モード」を使用してください。
- フラッシュバルブは発光波形がなだらかなため、コードレス測定では光を感知しないので必ず「フラッシュ光コード接続モード」で測定してください。

ご参考

- ・ シャッター速度の設定は 2-1 項の「フラッシュ光コード接続モード」の測定 (P 14 参照) と同様です。
- ・ 測定後、フィルム感度を変えると換算された値(絞り値)が表示されます。
- ・ 表示範囲外オーバー/アンダー及び定範囲外オーバー/アンダーについては、2-1 項の「フラッシュ光コード接続モード」の測定 (P 15 参照) と同様です。

1. 照明コントラストの測定

スタジオでのライティングの確認や照明ムラのチェックを行う方法です。

- 1) 付属品の白色平板を取り付けます。
(P8参照)
- 2) 主光源のみ点灯させます。
被写体位置で受光部を主光源に向けて測定します。
- 3) 次に補助光源のみ点灯します。
この状態で光球部を補助光源に向けて、測定します。
- 4) 主光源と補助光源の測定値の差より、
照明比 (コントラスト比) を求めます。

測定値のEV差	コントラスト比
1	2:1
1.5	3:1
2	4:1
3	8:1
4	16:1
5	32:1

ご参考

- ・ 入射光測定時の露出決定は、主光源と補助光源を点灯し光球を使用してカメラの光軸に向けて測定します。

2. 簡易照度計としての使い方

- 1) 付属品の白色平板を取り付けます。(P8参照)
- 2) EV値モードに設定し、ISO 100 にセットします。
- 3) 測定したい面と受光部が平行になるようにして測定します。
- 4) 測定したEV値で、換算表から照度 (ルクス) を求めます。

☆EV値→lx(ルクス)換算表

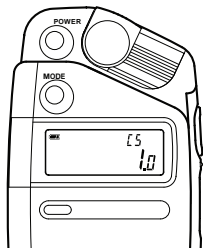
EV値	lx(ルクス)	EV値	lx(ルクス)	EV値	lx(ルクス)	EV値	lx(ルクス)
0.0	2.5	5.0	80	10.0	2600	15.0	82000
0.5	3.5	5.5	110	10.5	3600	15.5	120000
1.0	5.0	6.0	160	11.0	5100	16.0	160000
1.5	7.1	6.5	230	11.5	7200	16.5	230000
2.0	10	7.0	320	12.0	10000	17.0	330000
2.5	14	7.5	450	12.5	14000	17.5	460000
3.0	20	8.0	640	13.0	20000	18.0	660000
3.5	28	8.5	910	13.5	29000	18.5	930000
4.0	40	9.0	1300	14.0	41000	19.0	1300000
4.5	57	9.5	1800	14.5	58000	19.5	1900000

6. 機能

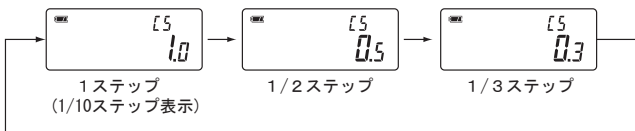
3. カスタムセッティング機能

お手持ちのカメラに合わせ、設定値と表示値を1/2段、1/3段のステップに設定することが出来ます。

- 1) カスタムセッティングモードにするには、モード切り換えボタン③を押しながら、電源ボタン①をONにしてください。
- 2) カスタムセッティングモードになると、ISO表示部にカスタムセッティングを示す「CS」、絞り値表示部に設定内容が表示されます。
- 3) モード切り換えボタン③を押すごとに設定内容が変更できます。



設定内容



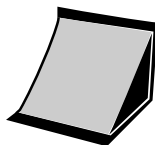
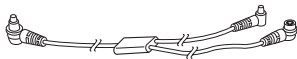
- 4) カスタムセッティング終了後、電源ボタンをOFFにしてカスタムセッティングモードを終了してください。この操作で電源も自動的に切れます。

ご注意

- 1ステップ設定時に表示される1/10の測定値は、1/2ステップ又は1/3ステップ設定時には表示されません。
- EVモードでご使用のときは、どのステップに設定されていても、1/10の測定値は、表示されます。

7. アクセサリー

- シンクロコード (別売)
長さ 5m のコードは3つのプラグを持ち、露出計、フラッシュとカメラを接続、同調させることができますので、撮影するときにもコードを差し換える必要がなく便利です。
又、シンクロコードの一方の接続端子は、ロック機構がついておりますので露出計側に使用すると確実に接続することができます。
- 標準反射板 (別売)
18%の反射率を持つグレーカード (110×102mm) で、反射率の高い (白い物)、低い (黒い物) 被写体や著しく異なった反射率をもつ被写体を測定する場合、その影響を受けないようにするため被写体の平均反射率を18%とみなして露光量を決定するとき 사용합니다。



8. 仕 様

形式	● フラッシュ光及び定常光用デジタル露出計
受光方式	● 入射光式及び反射光式
受光部	● 入射光式 光球及び平板 ● 反射光式 レンズ(受光角 40 度)
受光素子	● シリコンフォトダイオード
測定方式	● 定常光 シャッター速度優先測定 E V測定 ● フラッシュ光 シンクロコードを用いて測定 シンクロコード無しで測定
測定範囲 (ISO 100)	● 定常光 EVO ~ EV19.9 ● フラッシュ光 FNo.1.4 ~ FNo.90.9
繰返し精度	● ± 0.1 E V以内
校正定数	● 入射光式 光球C = 340 平板C = 250 ● 反射光式 K = 12.5
表示範囲	● フィルム感度 ISO 3 ~ 8000 (1/3 ステップ) ● シャッター速度 定常光 60 秒 ~ 1/8000 秒 (1、1/2、1/3 ステップ) シネコマ数 (f/s) 8、12、16、18、24、25、30、32、64、128 (開角度 180 度) フラッシュ光 1 秒 ~ 1/500 秒 (1、1/2、1/3 ステップ) 他 1/75、1/80、1/90、1/100 秒
その他の機能	● 絞り値 FNo.0.5 ~ FNo.90.9 (1、1/2、1/3 ステップ) ● E V値 EV - 5 ~ EV26.2 (1/10 ステップ) ● 測定範囲外及び表示範囲外 E.u (アンダー)、E.o (オーバー) 警告表示 ● 電池容量表示機能 ● 自動電源 OFF 機能 (最終操作後約 4 分) ● カスタムセッティング機能
使用電池	● 単 3 形乾電池 1 本 (アルカリ、マガン乾電池、リチウム電池のいずれか)
使用温度範囲	● 0°C ~ 40°C
保存温度範囲	● - 20°C ~ 60°C
寸法	● 約 63 (幅) × 110 (高さ) × 22 (厚さ) mm
質量	● 約 95 g (電池含む)
標準付属品	● ソフトケース、ストラップ、白色平板、白色平板用ソフトケース、シンクロターミナルキャップ

この使用説明書に記載の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

9. 使用上のご注意

ご注意

- 落下または急激な衝撃は絶対に避けてください。故障の原因になります。
- 高温または多湿な場所には保管しないでください。故障の原因になります。
- 急激な温度変化による湿気に注意してください。結露する場合があります故障や誤動作の原因になります。
- 本機の温度が -10°C 以下になると、液晶表示の応答が非常に遅くなり、表示が読みにくくなります。温度が $0\sim 10^{\circ}\text{C}$ では液晶表示の応答が若干遅くなりますが、ご使用には差し支えありません。また、温度が 50°C を超えると液晶表示が黒くなり、表示が読みにくくなりますが常温に戻るともとの状態になります。
- 真夏の直射日光下や暖房設備等の近くに放置すると、気温に比べて本機の温度がかなり上昇することがありますので、このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 電池の液漏れ等で本機に影響を与えることがありますので、長期間で使用にならないときは電池をとりだして保管してください。

お手入れについて

- 精度に影響を与えるおそれがありますので、光球、レンズ、白色平板にはホコリ、ゴミ、キズが付かないようにしてください。
- 本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は、絶対に使用しないでください。

10. アフターサービスについて

* 弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引き受けする保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 無料保証期間などについて

1. 無料保証期間はお買い上げ日より1年間です。
2. 保証書にお買い上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 無料保証期間でも有料修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

● 補修用品の保有期間などについて

1. 補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引き受けできないことがあります。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショックその他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われるものにつきましては、修理不可能となる場合があります。

● 修理ご依頼にあたって

1. 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所がありません場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質の性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご留意ください。
2. 修理をご依頼されたものの中には単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+) (－)の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

● お問い合わせについて

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは弊社営業部門にご相談ください。

万一、製造上の不備で生じた不都合につきましては現品をもって保証させていただき、それ以外の責は負いかねます。

[保証規定]

1. 使用説明書にそった正常な使用状態で、万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書を現品に添えてお買い上げの販売店または弊社営業部門にお問合せくだされば無料で修理・調整させていただきます。
2. 次のような場合には保証期間内でも保証の対象とはなりません。
 - (1) 誤ったご使用またはお取り扱い上の不注意により生じた故障、または損傷など
 - (2) 保管上の不備によるもの、および使用者の責に帰すと認められる故障、または損傷など
 - (3) 弊社の指定する修理取扱所以外で行われた修理・改造・分解掃除などによる故障または損傷
 - (4) 火災、地震、水害、公害、指定外の使用電池（電圧）およびその他の天災地変や落下、衝撃などによる故障または損傷
 - (5) 保証書のご提示がない場合
 - (6) 保証書にお買い上げ日、保証期間、販売店名などの記載の不備な場合あるいは字句を書換えられた場合
 - (7) ご使用後の内・外装面のキズ、部品や付属品の紛失による修復交換
 - (8) 各部点検、精密検査、分解掃除等を特別にご依頼された場合
 - (9) 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失など）
 - (10) お買い上げ店または、弊社営業部門にご持参いただくに際しての諸費用またはお買い上げ店と弊社間の運賃諸掛り
3. ご注意
 - (1) 本保証書は以上の保証規定により無料修理をお約束するものでこれによりお客様の権利を制限するものではありません。
 - (2) 本保証書の表示について、ご不明な点は弊社営業部門にお問い合わせください。
 - (3) 保証書をお受け取りの際は、販売店名および購入年月日などが記入されているかどうかをご確認ください。万一記入もれがありました場合には、ただちにお買い上げ店へお申し出ください。
 - (4) 保証書の再発行はいたしませんので大切に保存してください。
 - (5) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。



保証書

このたびは、セコニック露出計をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この製品は弊社が心をこめ厳重な品質管理のもとに製造したものでございますが、万一保証期間内に故障が生じた場合には、本保証書を現品に添えてお買い上げの販売店または弊社営業部門にご持参くだされば、無料にて修理・調整させていただきます。

(保証除外事項は P24 保証規定に記載されております)

機種名 L-308S BNo. _____

お買い上げ日 _____ 年 月 日

保証期間 _____ お買い上げ日より1年間

ご住所

ご氏名

株式会社 セコニック

〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町 7-24-14
TEL 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144
<http://www.sekonic.co.jp>

販売店名

株式会社 セコニック

〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14
TEL 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144
<http://www.sekonic.co.jp>